

Vibe Coding Factory

SERVICE OVERVIEW / サービス概要

AI事業実装伴走

3ヶ月で本番稼働、そこから毎月改善していく AI開発伴走サービス

月額サブスクリプションで、社内にAI開発チームを1つ持つ感覚。

アクセント等頼めない予算・期間の案件を、本番品質で請けるポジションです。

経営者・事業責任者向け | 2026年4月版

アンリミテッドアム株式会社 / 代表取締役 江藤正親

Vibe Coding Factory とは

MISSION

3ヶ月で本番稼働、そこから毎月改善していく AI開発伴走サービス。

01

3ヶ月で本番稼働

要件が固まっていない状態から、3ヶ月で現場で使えるシステムを本番稼働まで作り切る。

02

毎月改善していく

ローンチ後は月次サイクルで改善を継続。業務・法制度・AI技術の変化を毎月反映する。

03

社外のAI開発チーム

月額サブスクで、中堅エンジニア1名相当の開発チームを社外に常時確保。採用・常駐・労務なし。

なぜ今、AI伴走型の開発なのか

340万人

2040年に不足する
AI人材

経産省推計 (2026年3月公表)
需要782万人 vs 供給443万人

85.1%

DX推進人材が
不足している企業

IPA「DX動向2025」
米独と比べ著しく高水準

PoC疲れ

生成AIは試したが
本番稼働しない市場

NTTデータ 2025/12記事
「AIへの幻想を打ち壊す」

市場の結論

社内にAI人材を抱えられない企業が、外部チームを月額で確保する動きが加速。

アクセンチュアには届かず、ソニックガーデンはAI非特化。その中間層を埋めるのがVCFの立ち位置です。

こんな課題を抱えていませんか

01

何を作るべきか分からない

AI化の話は何度も出るが進まない

CASE

- 現場の業務は見えているが、どれをAI化すべきか優先順位が付けられない
- 要件が固まらず、外注先に相談しても『仕様を固めてきてください』と返される
- 経営会議でAI導入の議題は出るが、具体の第一歩が踏み出せない

02

過去に外注開発で失敗している

作ったけど現場で使われない

CASE

- 500万円払って開発したが、納品後に誰も触らないまま塩漬け
- 仕様変更できない固定契約で、現場のフィードバックを反映できなかった
- 『動くけど使い勝手が悪い』まま運用停止した経験がある

03

社内にエンジニアがいない

採用も現実的ではない

CASE

- 情シスは兼務1人、エンジニア採用は競争激化で年収1000万円超
- 内製化の相談をしたら『まず人を採用してください』と言われる
- コンサルは要件定義まで、実装は別会社で連携が崩れやすい

04

内製化したいが踏み出せない

最初の1歩がリスクに見える

CASE

- 社内で試験導入したいが、失敗時の撤退コストが読めない
- ベンダーロックインは避けたい、ソースコードと運用ノウハウを手元に残したい
- 月額固定で予算が読める形で、段階的に社内に知見を蓄積したい

1つでも当てはまれば、VCFが最初の1歩と一緒に進めます。

フェーズ1 — ローンチまで作り込む期間

[→ フェーズ2へ続く](#)

1ヶ月目 → 2ヶ月目 → 3ヶ月目 **ローンチ**

1ヶ月目

ヒアリングとプロトタイプ

- ▶ 現場の業務を1週目にヒアリング
- ▶ 要件の優先順位を合意
- ▶ 2週目末に動くプロトタイプ提示

2ヶ月目

本実装

- ▶ 要件確定分を本実装
- ▶ 週次で触れるバージョンを更新
- ▶ 現場担当が週1で触って試す

3ヶ月目

本番稼働 (ローンチ)

- ▶ 実際の顧客データで稼働開始
- ▶ 運用マニュアル・ソース一式納品
- ▶ フェーズ2 への継続移行

3ヶ月後のゴール状態

現場で毎日実際に使われているシステムが動いている状態まで到達します。

フェーズ2 — 毎月改善していく期間

ここからが本番。 事業と一緒に成長する開発チーム。

継続

毎月の改善サイクル

- ▶ 週次スプリント (週1・60分)
- ▶ バックログ無制限で柔軟対応
- ▶ 月次 Value Report で成果可視化

共創

事業と一緒に成長する

- ▶ 現場で使われる中で改善案が蓄積
- ▶ 業務・法制度・AI技術の変化を反映
- ▶ 蓄積データが次の打ち手を生む

安定

同じチームが張りつく

- ▶ ローンチ後も担当が変わらない
- ▶ 四半期 QBR で中期方針を経営とすり合わせ
- ▶ 障害 24時間以内対応を継続

『1個作って終わり』の受託ではなく、継続的な事業改善パートナーとして月額で張りつきます。

価格 — 月額サブスクリプション

MONTHLY / 月額サブスク

¥550,000 (税込)

契約期間の定めなし / 違約金なし / いつでも解約可

初期3ヶ月合計 (参考)

¥1,650,000

(税込・10%込)

¥550,000/月 × 3ヶ月

仕様変更は期間内で無制限

月額 ¥550,000 で手に入るもの

- 中堅エンジニア1名相当を社外チームとして常時確保 (採用・常駐・労務・社会保険なし)
- 毎週の改善サイクル + 月次 Value Report + 四半期 QBR + 障害24時間以内対応
- 事業・業務・AI技術の変化を毎月システムに取り込む権利 (バックログ無制限)

導入プロセス (6ステップ)



所要期間の目安

お問い合わせから契約締結まで :

平均 14~21日

3ヶ月

他社との違い — どこに位置するのか

VCF

Vibe Coding Factory

● 価格と期間を先に公開

月¥55万(税込)・3ヶ月本番稼働を最初に提示。稟議に乗る透明性。

● EC25年・1000社の現場知見

業務を分かっている人間が設計、実装はAIと開発チームで加速。

● 同じメンバーが張りつく

ローンチ後もチームが変わらない。社外に抱える専属チーム感覚。

● 月額サブスク・違約金なし

契約期間の定めなし。いつでも解約可、ソース一式お渡し。

ALTERNATIVES

他の選択肢

× 大手SIer / コンサル

年¥5,000万超～、見積まで数ヶ月。中堅企業の予算では届かない。

× 一般的な受託開発

「見積してみないと分からない」、仕様変更は追加料金、納品後に使われない事例多数。

× スタートアップ系開発会社

担当者が次の案件で変わる、継続改善の仕組みがない。

× 社内内製化

AIエンジニア年収1000万超、採用競争激化、育成に1年以上。

アクセント等には頼めない予算・期間の案件を、本番品質で請けるポジション。

監修者・運営体制

FOUNDER / 代表監修

江藤 正親

アンリミテッドアム株式会社

CEO



Representative

- ▶ EC業界 25年 / 支援実績 1,000社以上
- ▶ 楽天市場の店舗構築・運営支援で業界草分け
- ▶ EC コンサルティング事業を複数ブランドで展開
- ▶ 2025年より AI×EC領域でのプロダクト開発を本格化
- ▶ 中堅・中小企業のDX支援で経営層同席の案件多数

COMPANY / 運営会社

アンリミテッドアム株式会社

Unlimited Am Inc.

事業内容

EC・AIコンサルティング / AI開発伴走 / eラーニング運営

主要プロダクト

ECモンスター / Live C / Vibe Coding Factory

拠点

東京

契約・請求

月額サブスクで法人間契約、請求書払い対応

対応可能規模

年商 5~30億円 / 従業員 30~150名 が本命

同じチームがローンチ後も張りつきます。担当者交代は原則なし。

よくあるご質問

#	質問	回答
Q1	価格は本当に税込¥550,000/月ですか	はい、税込¥550,000/月のサブスクリプションです。初期費用・追加手数料はありません。
Q2	3ヶ月で本当に本番稼働しますか	直近の案件はすべて3ヶ月で本番稼働しています。1ヶ月目の2週目に動くプロトタイプが出ます。
Q3	途中でやめたらどうなりますか	翌月以降のサブスク停止のみ。解約時点で稼働中のシステム・ソース・ドキュメント全てお渡し。違約金はありません。
Q4	作ったシステムの所有権はどちらに	100%御社に帰属します。ソース一式・インフラ設定・運用ドキュメントを契約書に明記します。
Q5	対応できる業務範囲は	EC・BtoB SaaS・士業・飲食・教育などの周辺業務自動化・AI化が本命。基幹ERP本体の刷新や医療・金融の重規制領域は対象外です。
Q6	社内にエンジニアがいなくても大丈夫ですか	エンジニアはゼロで問題ありません。業務を知っている現場担当者1名に、週1時間の参加をお願いします。
Q7	要件が固まっていなくても相談できますか	むしろ歓迎です。要件整理の優先順位付けが1ヶ月目の最初の仕事。固まっていない前提で設計しています。

※ 詳細FAQ18問は初回無料相談後にお渡しします。

こんな企業に向いています

対象規模

年商 5～30億円

従業員 30～150名 / 中堅・中小企業

- ✓ 経営層に月¥55万(税込)のサブスクを稟議で通せる
- ✓ 現場で毎日その業務をやる人の名前が出せる
- ✓ 3ヶ月のローンチ期間を許容できる
- ✓ 基幹システム本体の刷新ではなく周辺業務である
- ✓ 医療・金融の重規制領域ではない

代表的なテーマ（業界別）

業務改善・AI化

現場の時間を取り戻す案件が本命です

EC / 通販

問合せ対応AI / 商品登録自動化

BtoB SaaS / IT

オンボーディング自動化 / 商談整理

美容 / ヘルスケア

多店舗の在庫・顧客DBビューア

士業 / コンサル

契約書・申請書類のAIレビュー

飲食 / リテール

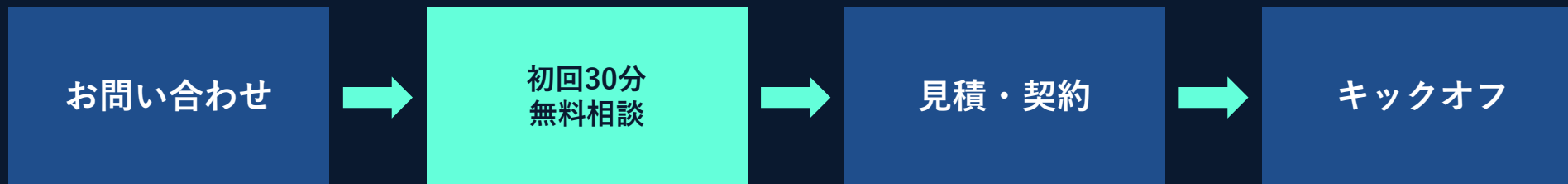
本部⇔店舗の日報・発注AI下書き

教育 / 研修

申込～決済～会員招待の自動化

1つでも当てはまれば、初回無料相談でお話を伺います。

次のステップ



まずは 30分の無料相談 からお気軽にお問い合わせください。

- 運営会社 : アンリミテッドアム株式会社
- 代表取締役 : 江藤 正親
- サービス名 : AI事業実装伴走 / Vibe Coding Factory
- 対応規模 : 年商5~30億円 / 従業員30~150名 / 月¥55万(税込)を稟議できる規模